

民衆の敵 (1931)

THE PUBLIC ENEMY

メディア 映画
ジャンル 犯罪 ドラマ サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 80分
初公開日 1931/11
公開情報 劇場公開

【解説】
数あるギャング映画の中でも最も共感できない主人公を擁する、強烈なW・ウェルマン監督作（だからこそ、反語的にこの映画のキャグニーを愛する連中も多い。半世紀が過ぎても色褪せないそのワルぶりよ）。貧しいアイルランド家庭に育った男は、母と弟たちとの家庭を護るため、進んで暗黒街へと乗り込み、惨虐の限りを尽くして急速にのしていく。もはや母の注進も受け入れず、彼女も腫れ物に触るように息子を扱うのだった……。ウェルマンは贅肉を削ぎ落としたスタイルで、この悪のヒーローを、その非業の最期（笑ってしまうくらい呆気なく凄まじい幕切れ）まで一直線に描ききる。それはハード・コアな域にまで達するパンクに等しい。

【クレジット】

監督	ウィリアム・A・ウェルマン	William A. Wellman
原作	キューベック・グラスマン	Kubec Glasmon
	ジョン・ブライト	John Bright
脚本	ハーヴェイ・シュウ	Harvey Thew
撮影	デイヴ・ジェニングス	Dev Jennings
出演	ジェームズ・キャグニー	James Cagney
	エドワーズ・ウッズ	
	ジーン・ハーロウ	Jean Harlow
	ジョーン・ブロンデル	Joan Blondell
	ベリル・マーサー	Beryl Mercer
	ドナルド・クック	Donald Cook
	ロバート・エメット・オコナー	Robert Emmett O'Connor
	レスリー・フェントン	Leslie Fenton
	ルイーズ・ブルックス	Louise Brooks